

第 8 号様式

令和      年      月      日

倉敷市長    あて

所在地

名    称

及び代表者名

2 0 3 0 年までの温室効果ガス削減計画書

補助対象設備の導入後、2 0 3 0 年までの脱炭素に関する取組みとして、下記のとおり温室効果ガス排出量の削減に向けた計画を提出します。

記

1    2 0 3 0 年度の温室効果ガス削減目標

温室効果ガス削減量              t - C O 2 （内補助申請した削減量              t - C O 2 ）

温室効果ガス削減目標              %    （基準年度排出量              t - C O 2 ）

2    削減目標達成に向けた取組み

取組み内容	温室効果ガス削減量（t - C O 2）

倉敷市長 あて

# 記入例

所在地

名 称

及び代表者名

## 2030年までの温室効果ガス削減計画書

補助対象設備の導入後、2030年までの  
おり温室効果ガス排出量の削減に向けた計画

記

「温室効果ガス削減量」には補助申請時の削減量と2の取組みによる削減量の合計値を記入してください。  
「内補助申請した削減量」、「基準年度排出量」には事前登録申出書に記載している、省エネ診断に基づく「削減量」と「現在の排出量」を転記してください。

### 1 2030年度の温室効果ガス削減目標

温室効果ガス削減量 23 t-CO<sub>2</sub> (内補助申請した削減量 15 t-CO<sub>2</sub>)

温室効果ガス削減目標 57.5% (基準年度排出量 40 t-CO<sub>2</sub>)

### 2 削減目標達成に向けた取組み

取組み内容	温室効果ガス削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
既存空調設備を高効率空調設備に改修する	8 (t-CO <sub>2</sub> )
ボイラー配管で保温がはがれている部分を補修する	

温室効果ガス削減に資する取組みで、2030年度までに実施可能なものを、1つ以上記入してください。

省エネ診断書に削減量の記載があるものはその数値を記載してください。  
削減効果が分からない場合は空欄として下さい。